



特定非営利活動法人

News Letter
あい・友

第 18 号
2018 年 3 月

おかげさまで 10 周年！



「NPO 法人あい・友」も早いもので、今年で 10 周年を迎えることができました。これもひとえに会員の皆さまのご理解とご協力があったることと心から感謝しております。お陰様で「結～ユニバーサルコンサート～」と「NPO 法人あい・友農園 青木村」の大きな二本柱も、共に歩みを止めることなく続けて来られましたこと、本当に奇跡のように感じます。まだまだよちよち歩きではありますが、皆さまのお力添えをもちまして、目鼻が付くところまでやって来られました。このような活動は、続けることに価値があります。

青木村からは、「認定農業者」という資格をいただいて、農水省から政策資金をお借りして、青木村にドーム型をした完全密閉型の植物工場を建設しました。青木村の守り神でもある子檀嶺岳（こまゆみだけ）に抱かれた羊牧場に面した、とても見晴らしの良い場所です。植物工場の中では、NPO 法人あい・友が独自に商標登録を取得した「あちゃんにんにく」が澄んだ青木村の水と空気だけですくすくと育っています。

おかげさまでユニバーサルコンサートも今年で 3 年目を迎えます。「音をつなぐ」というコンセプトはそのままに、歌声喫茶のように多くの人に参加していただける企画を考えているところです。さらに今年は、音響メーカーのパイオニア株式会社様の全面協力を得て、聴覚障がいの方々の参加も予定しています。このことは私たちの活動の範囲を大幅に広げられることにつながり、皆さまとよりいっそう、様々なことができることをとても楽しみにしています。

(代表理事 中澤達彦)



新年会で二本柱の報告



あい・友の新年会が 1 月 21 日、会員 15 人の参加のもとで賑やかに開催されました。パーティーでは青木村でのあちゃんにんにくづくりとその工場であるドームハウス建設などの動向について前田会長から報告され、青木村で作ったあちゃんにんにくの料理などをご堪能いただきました。また、昨年開催したユニバーサルコンサート「結（ゆい）」のビデオ上映があり、中島理事からは今年 7 月に向けて予定している

第 3 回のコンサート成功に向けて協力の呼びかけがありました。この日は新たに会員となった山田さんや石井さんがそれぞれ夫人同伴で参加。元ミュージシャンの石井さんはピアノ演奏を披露してくれました。最後はビンゴ大会が行われ、会員の小学館、相賀社長からいただいた書籍が景品として配られ、皆さま大満足、大いに盛り上がりました。



新たなステージへ！

赤ちゃんにんにくと新植物工場

■名前の評判は上々

NPO 法人あい・友ではこのほど、「あい・友農園青木村」で生産している芽子にんにくを、「赤ちゃんにんにく」と名前を変えました。商標登録も取得し、新たなステージに踏み出すことになりましたが、たくさんの方から、「可愛い名前だ」、「いい名前だね」と



▲「ナノバブル」発生装置

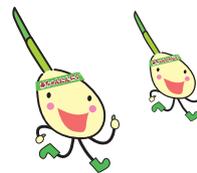
言われるようになりました。多くのスタッフ・関係者からの応募や知人たちからのサジェスチョンの結果を基に、投票で決めました。味もとても美味しいと評判になり、道の駅あおきなどでの販売、さらに東京の大手ホテルへの納入を予定する

■最高の環境の中で



▲完成した「ドームハウス」

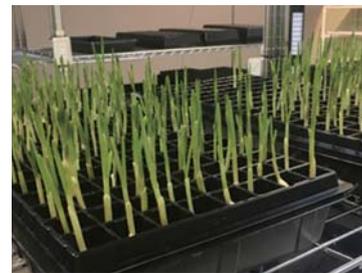
「赤ちゃんにんにく」を作っている植物工場は密閉型ドームハウスです。24メートル×7メートルの広さで、半円形をした建物です。そばには青木村の象徴である子檀嶺岳（こまゆみだけ）と羊牧場。そしてなによりきれいな空気と澄んだ水に囲まれています。そのひととき目立つ建物の中で、ゆっくりと育っているのが「赤ちゃんにんにく」です。ひとつひ



など、青木村の六次産業化に弾みを付けられるようになりました。

にんにくは特に栄養価の高い食品と位置付けられていて、米国厚生省の報告によれば、

にんにくはがん予防のトップに位置している食品とされています。「赤ちゃんにんにく」は発芽にんにくでも、一番滋養のある時期のにんにくです。あい・友農園で作られる「赤ちゃんにんにく」は根から茎まですべて食べられます。水耕栽培では、薬品を一切使わず、青木村のきれいな水だけを「ナノバブル」という技法を使って酸素リッチにして、作っています。原料はすべて、青木村で取れたにんにくだけです。郷里がはっきりした「赤ちゃんにんにく」は、どこに出しても喜ばれるとびきりおいしい製品です。



▲すくすく育つ「赤ちゃんにんにく」

とつの赤ちゃんにんにくは、きれいな水のゆりかごの中で育ち、約5日～7日間で商品となります。

植物工場の中は一定の温度に保たれています。入口には、外から来る埃を払うために強い風が噴出（エアーカーテン）しています。働く人たちは靴をはきかえ、頭にはキャップをかぶり、マスクをし、手袋をして、洋服を着替えて栽培室に入ります。栽培室でもエアー（風の仕切りがあります）を浴びます。栽培室には特製のベットにおさまっている「赤ちゃんにんにく」が整然と並び、LEDの赤や青の光線（時期によって変わります）が、当てられています。酸素リッチな新しい水が加えられ、ますます優雅に育っていくのです。



▲村長をお招きして「ドームハウス」の落成記念パーティー

産業祭でのお披露目！

「赤ちゃんにんにく」の最初のお披露目は昨年秋の青木村産業祭でした。会場となった『ふるさと公園あおき』にキッチンカーを持ち込んで、赤ちゃんにんにくを使った料理を皆さまにお味見をしていただきました。料理は東京で人気のお二人のシェフをお招きしご協力をいただきました。キッチンカーの傍らでも、生の「赤ちゃんにんにく」を販売したところ、たくさんお買い上げいただきました。

産業祭は2日間開催されました。1日目は赤坂のビストロQの山下シェフの「ミートボールと赤ちゃんにんにく」、2日目は目白の駅近くにあるフランスレストラン ラ・ムジカの梶村シェフの「仔羊肉と赤ちゃんにんにく」です。1日平均で750食以上のお客様が、立ち寄ってくださいました。あまり良いお天気ではなかったにもかかわらず、多くの方々に食していただきました。



▲ 産業祭のキッチンカー

東京からは、あい・友のメンバーや関係の方がお手伝いに来てくださいました。シェフのご家族（奥様と娘さん達）も応援に駆け付けてくださり、一生懸命、お客様を呼び込んでくださいました。



▲「ミートボールと赤ちゃんにんにく」



▲「仔羊肉と赤ちゃんにんにく」



▲ 生の「赤ちゃんにんにく」を販売



「赤ちゃんにんにく」食べてみてください

皆さんは赤ちゃんにんにくを召し上がったことがありますでしょうか？これってどうやって食べるの？ってよく聞かれます。産業祭などでは、「電子レンジで20秒加熱してからいただく」と簡単でおいしいですよ」とか「天麩羅」もいけますよ、とお話しました。でも、どうやって食べて



もよいのです。写真はおつまみ風にチーズに乗せたり生ハムやサーモンで包んだりしてみました。山下シェフのようにミートボールの中に入れてたり、梶村シェフのようにステーキに添えたり、餃子



にしても良いかもしれません。芽も根も食べられ、そこに栄養がいっぱい詰

まっているから工夫の仕方は無

限です。それぞれのお宅で好みや家族構成でメニューをたくさん考えてください。もしこれは…というレシピ

は、ぜひ事務局までお知らせください。どのようにこの美味しさを皆様に分かっていただけるかがこれからのテーマと思っています。



第3回ユニバーサルコンサート「結」に向けて

NPO 法人 あい・友主催の「結～ユニバーサルコンサート～」が、今年で3回目を迎えます。プロもアマチュアも障がい者も同じステージで演奏し、会場に来ていただいた全ての人が参加し、「音をつなぐ」コンサートとして企画しましたが、毎年多くの人に来ていただき、楽しんでいただいています。

昨年のコンサートは立ち見が出るほど、客席がいっぱいになりましたが、それでも演奏者は通路に繰り出し、観客と演奏者が入り混じって会場全体がお祭りムードで盛り上がりました。今年も、モットーである「音をつなぐ」というコンセプトはそのままに、会場全体で歌声を響かせる「歌声喫茶」を再現したいという意図のもとに、「大きな声で歌おう」というテーマを予定しています。来ていただいた皆さまも、例年以上に歌う機会が増えそうです。

何と言っても最大の目玉は、今年も参加者全員でコンサートを作り上げていくこと。演奏者同士、演奏者と観客、観客同士といった多様な交流を生む仕掛けをいろいろ用意したいです。その役割を担うのが、音楽療法士の方々。この皆さまの協力によって、プロと障がい者とのコラボ演奏が、実現できるのです。昨年は地域の中学生、高校生、大学生が、バンド演奏や



スタッフとして関わり、世代を超えた交流がありました。今年もいままで以上に



様々な交流が生まれ、新しいコンサートの形を創り上げていきます。

今年には音響メーカーのパイオニア株式会社様の協力をいただき、聴覚に障がいをお持ちの方もコンサートに参加できるようになります。それが体感音響システムの「ボディソニック」です。このシステムをお借りすることによって、今回のコンサートは視覚、聴覚、肢体不自由、知的障がい、高次機能障がい等などたくさんの方々のコンサートとなります。

このような見どころ聴きどころ、そして交流でいっぱいの第3回ユニバーサルコンサートにご期待いただき、ぜひご参加ください。

(ユニバーサルコンサート実行委員長／副理事長 中島健司)



ボディソニックとは？

音楽は耳だけで聴くものではなく、骨でも感じているとの考えから、骨伝導を体に伝えるボディソニック（体感音響システム）をパイオニア株式会社が開発しました。同社は、聴覚に障がいがある人も一緒に、音楽の素晴らしさに触れることができるボディソニックを使ったコンサートを、CSR 活動として25年ほど前から定期的に開催しています。

【お知らせ】

第3回ユニバーサルコンサート「結」開催決定！

日時：2018年7月29日（日）13時開演予定

場所：荏原文化センター 大ホール（東京・品川区）

※詳細が決定しましたら、ご連絡いたします。

発行日：2018年3月15日

発行者：特定非営利活動法人あい・友

本部：〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-38-5

TEL：03-3485-1793 / FAX：03-3469-5312

支部：長野県小県郡青木村殿戸 206-3

発行責任者：豊村泰彦